

<単元> 第4章 私たちの暮らしと経済**1節 消費生活と経済 ～ 5節 これからの経済と社会（教科書p.117～p.166）**

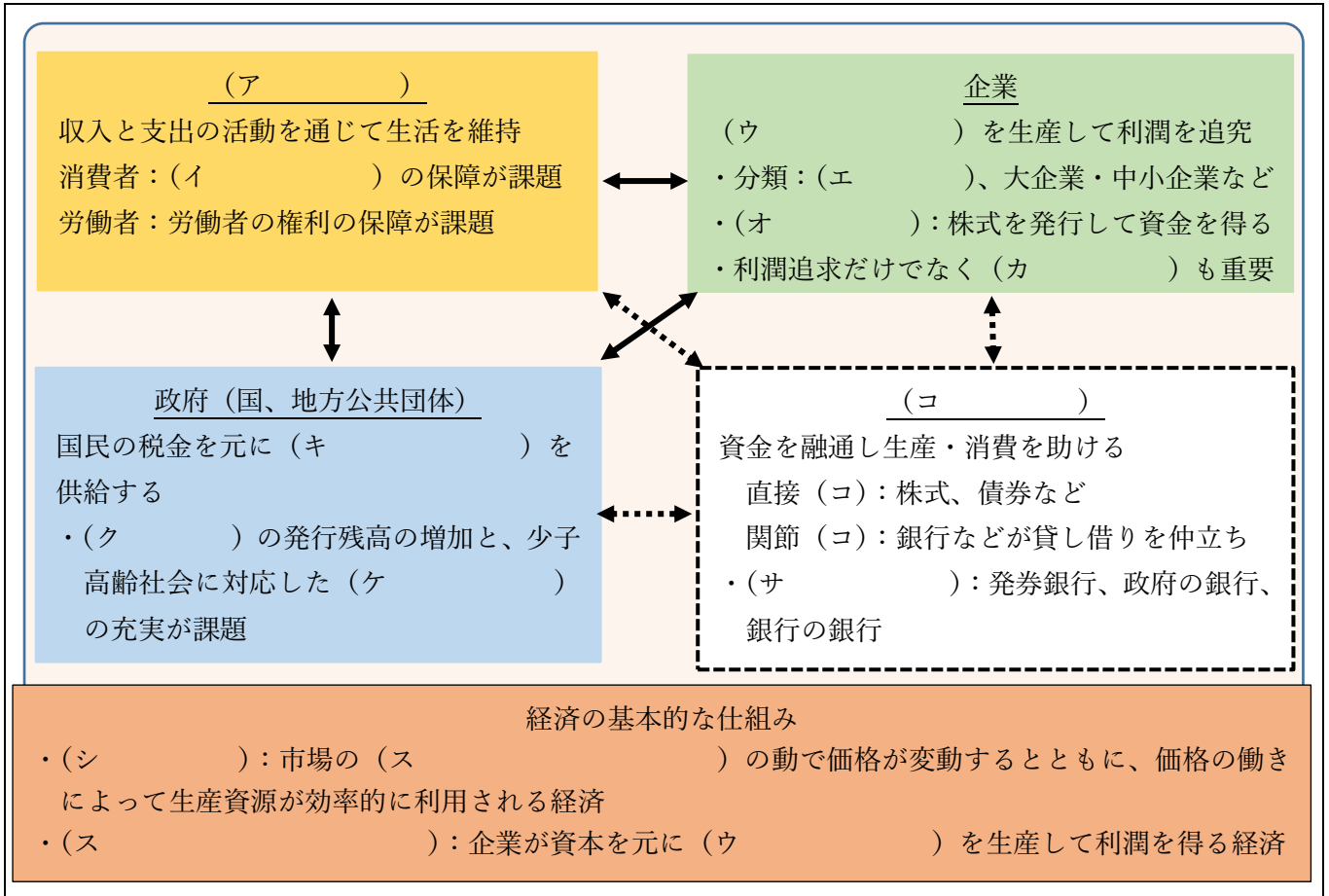
<めあて> 学習内容を確認し、経済と私たちの生活とのかかわりについて考えよう。

1 次の語句は、この章で学習した用語です。どのような意味の用語か、自分の言葉でそれぞれ説明しましょう。うまく説明できない場合は、掲載されたページにもどって確認しましょう。

用語	参考	説明
財・サービス	p.120	
家計	p.121	
流通	p.126	
公企業・ 私企業	p.128 p.129	
株式会社	p.130	
需要量・ 供給量	p.136 p.137	
独占・寡占	p.139	
公正取引委員会	p.139	
金融	p.141	
景気変動	p.144	
インフレーション・ デフレーション	p.144	
直接税・ 間接税	p.147	
累進課税	p.147	
財政政策	p.148	
為替相場	p.156	

※教科書 p.166の①にある用語の一部を取り上げています。

2 この章の学習内容についてまとめた次の図の空欄に入る語句を埋めましょう。



3 企業の役割について、次の語句を使って説明しましょう。

【財やサービス／技術革新／企業の社会的責任／労働条件】

4 金融の役割について、上の図を参考にして、次の文のそれぞれの空欄に語句を当てはめて説明しましょう。

金融は、企業や家計、政府の間で を し、その経済活動を 仕組みです。

5 日本の財政は今後、どのような方向を目指していくべきか、これまでの学習を振り返って、自分の考えを「 (な) 財政」というキャッチコピーで分かりやすく表現しましょう。

(な) 財政